

世田谷介護ネットニュース

第14号

発行日：平成21年9月29日
発行：世田谷区介護サービスネットワーク
事務局：世田谷区社会福祉事業団
世田谷区福祉人材育成・研修センター
連絡先：東京都世田谷区成城6-3-10
電話：(03)5429-3100

第1回全体会を開催しました

平成21年7月17日に「高齢者に多い病気と薬」というテーマで第1回全体会を開催しました。今回は、初めて成城ホルルの集会所での開催でした。

薬の勉強ということで、会員事業所の(株)ファークコース 成城ファーマシー祖師谷店の管理薬剤師橋本孝子さんに講師をお願いしました。

高齢者に多い病気と使われている薬、食べ合わせや飲み合わせの注意点など、介護の現場ですぐに役立つ内容でした。また、急なお願いであったのに、快くお引き受けいただいた上、事業所を挙げて分かりやすい資料を提供いただきました。

なお、当日の資料については、世田谷区介護サービスネットワークのホームページに掲載されています。参加できなかった方々も、是非資料をお読みいただければ日々の業務に活

かすことができると思います。

今回は、参加者が80名ほどと久しぶりに盛況となりました。今後も、現場からの要望をもとに現場で役立つ企画をして参りたいと思います。



文責 辻本

第2回スポット研修報告

9月14日(月)第2回スポット研修を三茶シャレナードにて開催しました。タイトルは、「脳の働きを知ろう！ストレスの上手な発散の仕方」～日々の介護で疲れが溜まっているあなたへ～

臨床心理士の北条美紀先生の切れのある研修に約50名の方がご参加くださいました。

日々忙しく介護に携わっている介護職の皆さんは、たくさんストレスを抱えています。まずは、そんなストレスは、人からもらったストレスであり、自分のストレスじゃないんだよ。というお話から始まりました。

じゃあ、もってきたストレスは、どんな風に処理をするのかというお話ですが、この研修は、脳の中身(どの部位がダメージを受けているか)を知ること、どのように対処を



これはミラーニューロンといわれ、人の心は「合わせ鏡」であり、介護者のこころが不安であると、利用者さんも不安になるというものです。

何が不安かを知る方法のひとつに「呼吸あわせ」という方法があり、皆さんで実際、呼吸あわせをしました。

お仕事帰りのこともあり、疲れもあり、何より、さすが！介護従事者の参加者の皆さんとても上手で、心地よく眠られていた方多かったです。

そして、なるほどと思ったのが、「蟻の社会の2・6・2セオリー」。100匹のありの中には、20匹が一所懸命働き、60匹は適当に働き、残り20匹は怠けているというお話。

あるある、どこの職場もそうかもしれない。けれど、それぞれの蟻の役割があって、ミラーニューロンで働いてない蟻は、働いている蟻のストレスを解消してあげてたり、受け取っているんだそうです。

今日参加した皆さんは確実に働く20%でした。

最後に介護ネットの参加されていない方の参加者が目立ちました。是非、会員になっていただけたらと思いました。

研修小委員会 宮川英子



連載

感染症一口メモ(7)「新型インフルエンザの発生前にできること」



感染症グループ

今回は、新型インフルエンザに備えて、今できることについて世田谷区の資料をもとにご紹介します。新型インフルエンザ発生前からすること、発生したときにすることなど、事業所内で情報を共有しましょう。

ふだんのとき

手洗い・うがいを習慣にする
咳エチケットを心がける
マスク(不織布製)は一人あたり 20
~ 25 枚程度確保しておく
外出しなくても十分な食料品や生活
必需品を最低限(2週間分)準備する
新型インフルエンザ発生時の家族の対応、役割を決
めておく



新型インフルエンザ発生時

冷静に情報収集する
感染したと思われるときは、発熱相談センター(保
健所)に電話で連絡する
発症した場合は、ほかの人にうつさないようにマ
スク(不織布製)を着ける

感染症を防止するための外出を
自粛する

不要不急の医療機関の受診は避ける
学校、保育施設等の臨時休業になった場合に、子
供たちが地域で集まらないようにする

備蓄品のリスト

主食：パン、米、切り餅、乾麺、コーンフレーク・シ
リアル類、調味料、粉ミルク、離乳食
その他の食品：レトルト食品、冷凍食品、インスタ
ント麺、缶詰、菓子、水、飲料など
医療医薬品：体温計、常備薬、絆創膏、ガーゼ、解熱
剤など
インフルエンザ対策物品：マスク、ゴム手袋、水枕、
漂白剤、消毒用アルコールなど
日用品：トイレトペーパー、ティッシュペーパー、
ラップ、アルミホイル、洗剤・石けん、シャン
プー・リンス、紙オムツ、生理用品、ビニール
袋、カセットコンロ、懐中電灯など

連載 知っているようで知らない福祉用具の基礎知識(2) ~福祉用具の「ひやり」を学ぶ~

以前、読売新聞に「福祉用具の「ひやり」学ぶ」と言う
記事が掲載されていました。読まれた方もいらっしゃる
と思いますが、内容は、「多い事例の1つが「車いすのブ
レーキのかけ忘れ」だそうです。確かに、座る時や降り
る時に、車いすが動いて「ひやり」とした事があります
よね。また、車いすの整備不
良による事例もあるそうで
す。タイヤの空気圧が低いと
ブレーキをかけても効きが
甘く動いてしまう。



ベッド周りの事例では、
「ベッド柵を乗り越えて転
落」するケースも少なくないようです。転落時、足が床
にすぐに着くように、ベッドの高さを低くする事も考
える。」と言う内容です。

私も、「足首がゆるい滑り止め付きのくつ下を履いた
高齢者が、自宅の床で足がつかかり、弾みでくつ下が
脱げ壁に頭をぶつけた。」という話を聞きました。滑り止
め付きくつ下は便利ですが、ゆるいと何かの弾みで脱げ
てしまう心配もあるようです。あるメーカーでは、以前

は商品を製造してい
たが、今は製造して
いないというところ
もあります。

また、高齢者が押
しているシルバーカ
ー、座面付きの商品
は便利な商品ですが、
ブレーキをかけずに
座ろうとして尻餅を



ついた。介護用ベッドを上げ下げする際に、手や足を挟
んでしまった。車いすのタイヤに手を挟んだ。足が落ち
ているのに気がつかず押ししてしまった。等々、、、皆さん
にも「ひやり」した経験はありませんか。

「ひやり」を無くすには、思い込みを無くすこと。基本
に戻り、「確認と声かけ」が大事です。「ひやり経験」をメ
モするなどして、事業所内で話し合うことも必要だと思
います。



世田谷区からのお知らせ



平成21年10月より要介護認定等の方法が見直されます

本年4月、最新の介護の手間を反映させること 認定結果のバラツキを是正することを目的として要介護認定方法の見直しが行われたところですが、並行して、専門家や利用者・家族の代表からなる厚生労働省の検討会で検証が行われ、その結果、認定調査の方法を一部見直すこととなりました。具体的には、認定調査の一部の項目について、日頃の状態をより重視するなど、調査項目の判断基準が一部変更されています。

この一部見直しは10月1日以降に申請された方から適用されます。また、これまで更新申請を行う際に、「更新前の要介護度とする希望があれば、更新前の要介護度のままにすることが可能となる」経過措置については、9月30日をもって終了します。

認定調査項目の新しい判断基準は、「研修教材・改訂版テキストにおける調査のポイント解説」として、要介護認定適正化事業ホームページ(www.nintei.net)でご覧いただけます。

【お問い合わせ先】

要介護認定についてご不明な点がございましたら、各総合支所保健福祉課までお問い合わせください。

電話番号

世田谷地域 (5432) 2885	北沢地域 (3323) 9907
玉川地域 (3702) 1894	砧地域 (3482) 8193
烏山地域 (3326) 6136	

講演会のお知らせ

「住宅改修のポイント」

～事前訪問調査について～



日時 11月26日(木) 午後6時30分～
場所 成城ホール(小田急線 成城学園前駅下車 徒歩4分)

概要 介護保険住宅改修事前訪問調査の経験を踏まえて、NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会より、介護保険住宅改修のポイントや高齢者の住環境整備についてご説明致します。

【お問い合わせ先】 介護保険課 保険給付係
電話番号 5432 - 2647



リレー随想

NPOわかば 辻本きく夫

「酔い覚めの 水千両と 値が決まり」という川柳がある。酒飲みならばこの句の意味はすぐに分かると思う。

休肝日を設けることなく、少なくとも3年間は毎日酒を飲んできた。小生のかかりつけ医は、「最低週に2回酒を抜き、1回当たりも1合くらいにしてあげ」というが、止まらない。大体1合の酒でやめておくくらいなら、飲まない方がましと思っている。

しかしだ。ちょっとした事件が起きた。左腕に力が入らなくなったのだ。医者曰く、「ゴルフ肘」である。小生はゴルフをやるが、要するに「けんしょう炎」というやつらしい。特段の治療法がないらしく、なるべく使わないようにとされている。

るが、介護の現場ではそうはいかない。痛みをこらえて既に1ヶ月になってしまった。

酒飲みとしては、これを酒のせいにしたくはないが、このところ月に2、3回酒を飲まない日を作るようになった。飲まなかった翌日は、こころなしか、朝飲む水の味が冴えないように思う。

余談であるが、人には生涯に飲める酒の量が決まっているという話がある。急いで持ち分を飲んでしまうと、残りの人生を酒なしで過ごさなければならない。また、ゆっくり飲んでいると、持ち分を飲み終える前に寿命が来てしまう。

持ち分を飲み残すことなく長生きする方法はないものだろうか。今宵も飲みながらゆっくりと考えようと思う。

今回は、NPO 向日葵の田井さんにバトンタッチ。

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの研修】

1) 「第3回全体会」

テーマ未定

平成21年11月17日(火) 18:30~20:30

会場：世田谷区民会館集会室

2) 第3回スポット研修「インフルエンザに負けないために!!」~しっかり学んで見につけよう!正しい感染症に対する知識と対応~

平成21年10月15日(火) 18:30~20:30

会場：三茶チャレナード

講師：佐々木静江課長(世田谷区社会福祉事業団)

【世田谷区福祉人材育成・研修センター関連】

「せたがや福祉区民学会設立大会」

平成21年12月12日(土) 13:00~17:00

会場：駒澤大学

現在、発表事例を募集中です。締切は、10月15日です。詳しくは、世田谷区福祉人材育成・研修センターの

ホームページからご覧ください。

【その他のイベント】

1) 「第9回世田谷りはねっとフォーラム」

平成21年11月1日(日) 10:00:~16:30

会場：総合福祉センター

内容：基調講演「主体性を引き出すリハビリテーション」

桜新町リハビリテーションクリニック 長谷川幹院長

問い合わせ先：5376-3412(小林・荒井)

印の問い合わせ先は

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話：5429-3100



会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月奇数月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

世田谷区介護サービスネットワーク入会のご案内(更新受付中)

入会資格：世田谷区民に介護サービスを提供する介護保険事業者(正会員)又は関連サービスを提供する事業者(準会員)

新規ご入会の場合 入会金 5,000円

(正会員、準会員とも) 年会費 5,000円

継続の場合 年会費 5,000円

詳しい問い合わせは、世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センターまで。

電話：03(5450)8575、FAX：03(5450)8237

ホームページ：www.setagayaj.or.jp/kaigo/

入会のメリット!!!

- 1) 事業所間の情報交換・共有ができます。
- 2) これからの介護事業所間連携を深める上で必要な「顔の見える関係」をつくることができます。
- 3) 行政からの情報をいち早く入手できます。
- 4) 現場に即した各種研修に職員を安価に派遣できます。などなど。

会員数：248(平成21年9月25日現在)

編集担当から

いつもより早めの秋が到来したとか、少し朝夕涼しく過ごしやすいようになってきましたね。日本の国にも新しい風が吹き、期待と不安でスタートしました。

介護サービスネットワークも世田谷で

介護に従事されている方々が皆さん参加されるよう新しい風を送れば良いと思う日々です。(E.M.)

天高く馬肥ゆる秋。夏の疲れを秋の味覚で癒し、スポーツ、読書などで秋を満喫しましょう。(K.T.)

問い合わせ先

世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101